

2014.7.22

名古屋市長 河村たかし様

水・森・いのちを守る
ラブリーアースJapan
事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊4-22-10
Tel/Fax 052-821-6463

市道弥富相生山線事業への代替案の提案書

名古屋都市計画道路事業3・5・79号弥富相生山線については、道路事業計画を変更し、都市計画公園相生山緑地に組み入れて、自然環境を現状のまま保全する代替案を提案します。

1. 上記道路予定地は、都市計画公園緑地に指定されている相生山緑地における生態系豊かな核心的区域の中に位置します。

生物多様性の象徴・基地的存在として位置づけ、本来の生育環境を破壊することなく、まるごと保全を図るべき重要な地点です。孤立した自然を一度破壊すると、回復することは極めて困難です。

2. 市道弥富相生山線の建設事業は、1957（S.32）年の都市計画決定以来半世紀以上、2004（H.16）年の工事着手、2010（H.22）年の工事中断という経緯のもとで、未完成のまま現在に至っています。しかし、いまだ名古屋市民は、未完成がゆえの甚大な被害をこうむっておりません。

3. これまでに道路用地としての土地買収も含め、29億円がすぎ込まれています。未着工部分の建設には更に7億円が必要とされています。

また、「道路」として供用すべく建設された構築物の撤去には11億円以上がかかるとされています。

しかし、代替案を採用して工事を中止し、すでに建設された構築物は撤去しないとすれば、大規模な財政支出は避けられます。

4. 名古屋市民とりわけ未来を担う子どもたちにとっては、ヒメボタルをはじめとする貴重な生物が奇跡的に残されたこの場所を、観察・学習・体験・いこいの場となる公園として利用することの方が、道路として利用するよりも、長期的にみて、はるかに有益な活用方法です。

5. 道路建設予定地を公園緑地の一部としてどう活用していくかは、(その区域内にすでに出来てしまっている「道路の一部になる予定であった構築物」をふくむ)今後の利用方法や管理の具体化など、行政当局の名古屋市緑政土木局を中心に名古屋市教育委員会・有識者・市民有志などによる専門委員会を設け、そのていねいな検討・結論を待つべきであると考えます。

相生山公園緑地の全体についての計画と併せて検討されるべきものです。

以上の考察により、首記の代替案を提案し、市長裁可のもと関係部署のすみやかな検討をお願いするものです。

8月8日までに、この代替案についてのご回答をお願いいたします。

以上

2014.7.22

名古屋市長 河村たかし様

水・森・いのちを守る
ラブリーアースJapan
事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10
Tel/Fax 052-821-6463

弥富相生山線に関する住民意向の調査についての検討委員会への提案書

1 調査の内容について

- (1) 道路建設に替わる「代替案」を選択肢の一とすること。
【別提案「市道弥富相生山線事業への代替案の提案書」を参照】
- (2) 計画通り道路を建設、計画変更し緑地公園として整備 の2項目からの選択設問とする。
- (3) その理由は、道路建設支持が多数の場合はともかく、道路建設反対の意向が多数を占めた場合、上記 のように設定しておかないと、正しく市民の意思を行政施策に反映できないからである。

2 調査の対象、方法について

- (1) 名古屋全市の市民から無差別抽出した対象者による投票。
- (2) その理由は、都市計画道路及び都市計画公園緑地の公共性に基づく。
- (3) 全市住民投票が最も望ましいが、法整備・財政負担・必要時間などを考慮し、統計学的に有効正当と認められる以上の方法で代行させるも、やむを得ない。
- (4) ただし、この問題で少なからぬ影響を受けるとみられる地域住民、長年この課題に取り組んできた市民をはじめ、投票権行使を希望する全員を調査対象者に加える。

3 調査の進め方など

- (1) 市民の意思を尊重する「住民意向調査」の主旨にふさわしく、市民からの意見聴取や市民への情報提供などにおいて市民本位の姿勢を堅持すること。
- (2) 公正、公平、公開、迅速を追求すること。
- (3) 検討委員会のこれまでの進め方については、相生山の道路に関心をもっている全ての市民が不満足でいる。会議の内容がなかなか明らかにされず、今後の進め方がいつまでたっても不透明なことなどである。これらの点について、速やかな改善を図られたい。

以上